

平成27年度 継続被災地支援活動「福島県への継続文化支援活動」報告

【事業実施に向けた打ち合わせおよび現地調査、ミニ公演】

- 1) 日程 平成27年5月21日（木）～26日（火）
- 2) 場所 福島市の保育園2カ所にて人形劇公演を実施。
福島市、川俣町において事業支援団体および行政担当者との打ち合わせ。
- 3) 参加劇団 人形劇団野良犬（1名）、劇場スタッフ（1名）
- 4) 公演記録

| 月/日（曜） | 開演時間 | 会場 | 公演プログラム | 観客数 |
|---------|-------|--------------------------|--|----------------------|
| 5/22（金） | 15:00 | 福島わかば保育園 福島市浜田町4-5 | 人形劇 「おむすびころりん」 パネルシアター 「ママのおけしょう」 他 | 72名 （小67、 大人5） |
| 5/25（月） | 11:00 | 立子山季節保育園 福島市立子山字竹ノ内21 | 人形劇 「おむすびころりん」 パネルシアター 「ママのおけしょう」 他 | 12名 （小9、大 人3） |

5) 写真で見る公演及び調査記録

①ミニ人形劇公演（福島わかば保育園）



- 施設の中には、現地での保育園公演等の受入れを調整してくださっている方が作ってくれた手描きのポスターが貼られていた。今回公演した2カ所の会場共に貼られており、様々な形で協力していただけていることにあらためて感謝の気持ちでいっぱいになった。
- 保育園ということで1歳～6歳までの子どもたちが観劇。大きな声と人形にびっくりして泣いてしまう小さな子どもたちと、大笑いで人形劇を観ている子どもたちとで、涙と笑いでいっぱいの賑やかな公演となった。
- 公演終了後は、札幌のお母さんたちから預かったハンドパペットをプレゼント。
- 人形劇のお礼にと、子どもたちから元気な歌と、子どもたちが描いたイラストがプリントされた可愛い巾着袋をいただいた。

②ミニ人形劇公演（立子山季節保育園）



- 山間にある全園児数が10名のとてもかわいらしい保育園。
- 最初は緊張していた子どもたちも、普段から大好きだという手品で緊張も和らぎ、最後まで集中して観てくれた。
- 札幌からのハンドパペットの他に、宮城の人形劇フェスティバルにおいて「いい顔・笑顔・人形劇の会」から子どもたちに渡して欲しいと頼まれたパネルシアターとパペットもプレゼント。

【園長先生のお話より】

- 豊かな自然に囲まれた立子山保育園は、山を散策するなど大自然を先生にして子どもたちが成長をしてきたが、震災後は放射線量が高く屋外での活動はほとんどできなくなってしまった。
- これまでの保育方法を根本から見直すことが迫られ、先生たちは知恵を出し合い大変な苦勞をして園児と向き合ってきた。
- 運動が制限されることで子どもたちの体力が低下することを懸念し、考えついたのが園内の「雑巾がけ」。雑巾がけで競争するなど、遊びの要素を取り入れることで子どもたちの成長に働きかけた。
- 春には園の周りが桜で満開になり、夏には外で流しそうめん・・・と四季折々の自然の魅力を保育に取り入れてきた震災前のお話を聞かせていただいた。私たちが訪れた5月も緑の木々が美しく、豊かな自然環境に感動を覚えるほどであったが、同時に放射能という見えない影が全てを覆い尽くしているようにも思え、やりきれない気持ちがする。

